

秦野市青少年指導員だより

発行 秦野市青少年指導員連絡協議会

編集 秦野市青少年指導員連絡協議会広報委員会

第49号



開会式での市長祝辞

子ども達の健やかな成長を願って
新たな一歩を踏みだします

秦野市青少年指導員連絡協議会は平成三十年に創立五十周年を迎えました。ここに至るまでの先輩方の足跡を振り返り、また支えてくださった多くの皆様への感謝の思いを込めて、二月三日に記念式典を、同十七日に記念フェスティバルを開催いたしました。

変わらぬご支援を

会長 山口晴美

地域ぐるみで青少年を育成する実践的活動の推進役として、「青少年指導員」が制度化されたのは昭和四十三年のことです。それ以来、各地区自治会連合会より推薦を受け、

神奈川県知事・秦野市長から委嘱された市の非常勤特別職員として、五十年にわたり活動してまいりました。

その間、多くの市民の皆様にご支援いただき、今回こうして節目の年を迎えることができましたことに深く感謝申し上げます。

協議会ではこれまで周年を記念する事業を行ったことがなく、準備段階では不安ばかりが募りました。けれども迎えた式典当日、高橋昌和市長には就任後間もないお忙しい中ご出席を賜り、ごあいさつを頂戴いたしました。フェスティバルでは、市内で幅広い

文化活動を展開されておられる八団体様にご参加いただき、会場全体を華やかなものにしていただきました。記念事業を無事に終え、第二十六期をスタートさせた今、皆様には感謝の気持ちしかありません。これからも変わらず、子ども達一人ひとりの成長を願って活動してまいります所存です。どうか変わらぬご支援をお願いいたします。

記念式典担当

(西上地区) 飯田久雄

平成三十年二月三日(土)

秦野市文化会館小ホールにおいて、多くの関係者皆様のご協力を賜り、無事に記念式典が挙行できましたこと、先ずは、厚く御礼申し上げます。

式典は、オープニングに始まり、主催者あいさつ、来賓祝辞、来賓紹介、表彰、活動発表、最後に記念アトラクションとして私ども文化伝承委員会の新作影絵「マナとタツ」が上演されました。

◆オープニングは、歌って踊って芝居もできる超パフォーマンス集団でもある秦野総合高校合唱部の皆さんの歌で

幕を開けました。当日は来場者皆様の年齢層を考慮し、演歌からドラマ主題歌、ディズニー映画の挿入歌まで幅広い分野全五曲を素晴らしい歌声で披露していただきました。



◆ご来賓には、高橋昌和市長を始め、阿蘇市議会議長、文教福祉常任委員会の市議皆様、指導員OB市議の皆様、市自治会連合会各地区会長の皆様にもご臨席賜りました。

◆表彰では、五期十年の長きにわたり当協議会の会長を務めいただいた功績に対し、西地区在住の小野孝允さんに、現山口会長より感謝状と記念品を授与させていただきました。

◆活動発表では、五十年の歴

史を大きく四つの期に分け、当時の懐かしい特徴ある活動を代々の会長さん方にパワーポイントを使って発表していただきました。また、現役の指導員は、本部主導の活動報告を会長が、二つの委員会(研修活動・広報・文化伝承)は各委員長が、各地区での特徴ある活動報告は各地区長が発表をして、ご来場いただいた皆様には、私どもの日頃の活動について、ご理解いただけたかと思いません。



◆記念アトラクションは、当協議会文化伝承委員会の新作影絵「マナとタツ」です。二年近くをかけて完成したばかりの全八場、上演時間二十五分の大作です。この日に向け、数回の先行上演を持ちましたが、多くの方が初めてご

覧になったのではないでしょうか？
ホロリとさせられる場面もあり、市内の地名の由来を聞けるなど、子どもから大人まで楽しんでいただける作品です。これからも、より多くの皆様に影絵(他に「一つ目小僧とせえの神」「血を吹くさんご樹」の二作品があります)をご覧いただけたら幸いです。公演のご希望がございましたら、ぜひともお声をお掛けください。

秦野市青少年指導員連絡協議会創立

50周年記念フェスティバル

日時 平成30年2月17日(土)
午前10:00～午後3:00
会場 本町公民館・はだのこども館(入場無料)

本町公民館

2階大会議室
10:10～吹奏楽演奏 (本町中学校吹奏楽部)
11:30～二胡合奏 (秦野二胡合奏団)
13:00～フラ (カフラオリコレファ)
13:45～ジャズダンス (Dancin' Joy CLUB・ファンキーキッズ・ジュニアダンス)
14:30～よさこい (HADANO 乱舞「翔」)

2階音楽室
12:40～大型紙芝居 (青少年指導員)

1階和室
10:50～影絵上演 (青少年指導員)
12:10～人形劇 (黒田隆子と仲間会)

館内において市内各地区の青少年指導員による工作コーナーなどもあります。(マスキングテープ作品づくり・かざぐるま・竹のはしづくり・バルーンアート・もぐらたたきなど多数)

はだのこども館

駐車場スペース
10:00～火おこし・輪投げ・昔遊び (青少年指導員)

主催 秦野市青少年指導員連絡協議会
お問い合わせ はだのこども館 TEL(81)7011



フェスティバル担当
(本町地区 磯谷 誠)
早春のやわらかな日差しの中、たくさんの方においでいただいたフェスティバル会場本町公民館。その賑やかな会場の様子を、このイベントについて少しでも多くの方に知っていただきたいと事前に近在の小学校他に配布をお願いした私ども手作りのイラスト(チラシ)をご覧いただきながら、紹介しましょう。

まずはメイン会場の多目的ホール（旧大会議室）。本町中学校吹奏楽部の演奏に始まり、二胡合奏（秦野二胡合奏団）、フラ（カ フラ オリ コ レファ）、ジャズダンス（Dancin' Joy CLUB・ファンキークッズ・ジュニアダンス）、よさこい（HADANO 乱舞「翔」）まで、日頃の活動の成果を披露していただきました。子ども達が真剣に取り組む姿が心を温かくさせてくれました。



乱舞「翔」よさこい

一階和室では、黒田隆子と仲間の会による人形劇の上演。子ども達だけでない、幅広い世代が一つになって、楽しいひとときを過ごしました。指導員の影絵「マナとタツ」も再上演の機会をいただきました。この日会場が手狭だったために、ご覧いただけなかった方が出ってしまったことを、お詫び申し上げます。申し訳ありませんでした。

同じく文化伝承委員会のもう一つの柱、大型紙芝居も音楽室で上演しました。（チラシの一番下で「笠じぞう」さんが顔をのぞかせています）それ以外にも、私ども市内六地区の指導員による体験コーナー

本町公民館 本町地区（マスキングテープ・昔遊び） 南地区（かざぐるま作り） 東地区（竹の箸づくり） 北地区（もぐら叩き） 西・上地区（バルーンアート）

はだのこども館駐車場 大根・鶴巻地区（火起こし・フリズビー）で、子ども達に思う存分遊んでもらいました。会場に溢れる歓声と笑顔が、このフェスティバル開催に漕ぎつけるまでの苦労を、吹き飛ばしてくれるかのようでした。



体験コーナーで

右ページのチラシには、実は「笠じぞう」さんの他にも、

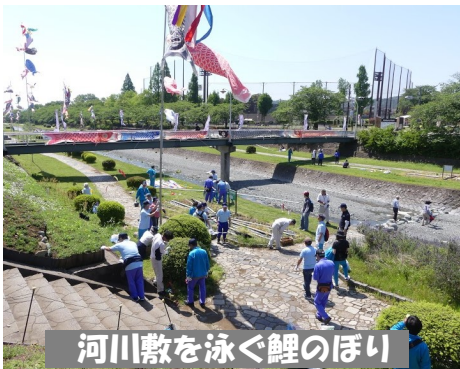
周囲を飾る形で当日の活動がイラストで描かれています。プログラムの四隅を止めるマスキングテープに始まり、顔をのぞかせるモグラに、竹の箸。そして昔遊びの独楽・剣玉まで、探していただくのも一興かと思えます。

子どもまつり

五月五日 カルチャーパークで展開された青少年指導員の活躍ぶりを 各地区からのリポートで紹介します。

鯉のぼり上げ

毎年、四月の二十九日から五月五日のこどもの日まで、水無川の兩岸で気持ちよさそうに泳いでいる鯉のぼり。実はこの設置と片付けも、私たち青少年指導員が中心に行っています。



河川敷を泳ぐ鯉のぼり

ミニ動物園

子どもまつりで大人気のミニ動物園。担当は大根・鶴巻地区です。

動物園は子どもと動物が触れ合うので安全と衛生に配慮しなければいけません。そのため多くの事前準備が必要になります。まず退園後の手洗いの徹底。手洗い場に石鹸を準備し、案内板の位置や誘導にも気を使いました。他にも動物の扱い方や特性を勉強し、動物が脱走した時のために出入口は二人配置としました。

さて当日は気候にも恵まれ、素晴らしい動物園日和でした。園内は一度に十分三十人という制限があるので、すぐに長

蛇の列ができてしまっています。そこでヤギを配置し、時間待ちをしてもらいます。入場十分前には園内と動物の扱い方について説明します。

園内では、初めは動物に戸惑う子ども達ですが、すぐ打ち解け、頭にチャボを乗せて写真を撮ったり、七面鳥を肩に乗せたりする子もいます。ウサギを掴まえられない子には指導員が膝の上に乗せてあげると、素敵な笑顔が返ってきます。

入場者六四九名（うち子ども三五九名）と大盛況でした。



賑わいのミニ動物園

大型紙芝居

指導員は「秦野にまつわる民話や定番の昔話」など十数作品を所有していますが、子どもまつりでは、低学年向け

のやさしい作品の上演を心がけています。

とはいえ、広い陸上競技場での披露は声も通りにくく、大型とはいえ観づらくなりません。それでも、お父様お母様と一緒にスタンドに腰かけ、見入ってくれたたくさんの子ども達、ありがとう。来年また会いましょう。

模擬店

西・上地区では昨年に引き続き、たい焼き、ポン菓子、ポップコーンの製造販売を行いました。

前日からの下準備、当日朝七時からの会場作り等に全員が力を合わせ、定刻どおり十時に開店させ、十五時の閉店まで、どの品目も行列が出来る程の好評であり、大盛況のうちに、ほぼ完売することが出来ました。



南地区は北地区と合同で綿菓子やチョコバナナなどの食べ物と水ヨーヨー・輪投げの遊戯コーナーを担当しました。

材料の買い出しや設備の据え付けなどのお膳立ては指導員の仕事ですが、当日の運営は南地区で育成する「ジュニアリーダー」中学生ボランティアの面々が主役です。学校や学年の垣根を越えて集まってくれた総勢二十二名。元気な声を出し、自分たちの創意工夫を活かして来客を楽しませてくれました。



北地区は主に綿菓子とかき氷を担当しました。最初、綿菓子が割りばしに絡まず細くなってしまうこともありましたが、そのうち慣れてふっくらとした白とピンクの綿菓子ができるようにになりました。十名を超える待ち行列ができることがありましたが、南

地区のジュニアリーダーが頑張ってくれて待たせずにすみました。赤、緑、青などのカラフルなシロップを用意したかき氷は、暑さのせいもあって長蛇の行列ができるほど大人気でした。

ゲーム

子ども達が楽しく体力測定を行うふれあいゲーム。担当は本町地区と東地区です。

今年は従来の陸上競技場フィールドが使用できず、体育館前スポーツ広場の土の上での開催となりました。土の会場では転倒による怪我が懸念されます。Uターン縄跳び、同ドリブルキックの二種目に縮小し、実施しました。

模擬店が賑やかに並ぶ体育館前コンコースから一段低くなった会場は分かりづらく、参加者が少なかつたのが残念です。それでも時間にゆとりができた分、いつも以上に「今の何秒だった」、「やった!もう一回やっていい?」子ども達の元気な笑顔があふれました。そして何より、怪我なく無事に終えることができました。来年はぜひ芝生の上で、「シヤトルラン」と併せて開催したいと思っています。



神奈川県青少年指導員大会

第五十一回神奈川県青少年指導員大会が、十一月十八日(日)に「子どもたちの未来の応援団」私たち青少年指導員に求められること」をテーマに、厚木市文化会館で開催されました。

また当日、長きにわたる指導員としての功績を讃えられ



られ、久保光弘氏(東地区・六期十二年・現事務局長)が優良指導員表彰を受賞されました。おめでとうございます。来年は、十一月九日(日)、横浜市の神奈川県立青少年センターで開催されます。

編集後記

秦野市青少年指導員日より第四十九号をお届けします。

私たち青少年指導員は、これからも努力してまいります。どうぞご声援ください。

≪二十六期編集員≫

- ・竹川伊佐子(南)委員長
- ・吉田トシ子(西・上)副委員長
- ・磯谷 誠(本部)
- ・多田 智(本町)
- ・渡邊 哲幹(本町)
- ・細越 徹哉(南)
- ・坪井 正晴(東)
- ・久保 光弘(東)
- ・山口 重春(北)
- ・堀尾 吉晴(大根・鶴巻)
- ・田方 淳一(大根・鶴巻)
- ・田方 明子(大根・鶴巻)
- ・宮永 敏明(西・上)
- ・川口 英二(西・上)